

会計室の目標（令和7年度）

会計室長 赤津 武彦

1 課の役割

地方公共団体の会計事務をつかさどるために置かれている会計管理者の事務を補助する部署として、現金・有価証券等の出納及び保管と現金及び財産の記録管理及び決算の調製、その他これらに付帯する事務を行います。

2 個別事業とその目標

1 会計室の窓口改革

派出行員が扱える公金には制限があるため、会計室職員と派出行員とで対応する場面の分担を行い窓口業務の効率化を図ります。

2 現金及び財産の記録管理、決算の調製

町監査委員の出納検査に備え、現金や有価証券等の管理を確実に行います。決算では、整合性のとれていない数値などを主管課等と早期に調整して正確な決算の調製を行います。

3 チャレンジ目標

会計事務に係る知識や技術の継承のため、経験豊かな暫定再任用職員の業務を他の職員へ振分け、業務遂行能力の底上げを目指します。